

水稻種子

消毒と催芽法

水稻は、殊に第一期作の場合、よく寒害とか種子の腐敗(稻熱病、馬鹿病(俗稱稻公)、稻胡麻枯病、稻菌核病などの如き各種の病害に侵され易い。これ等の病害の爲に收穫が減少するの普通であるが、被害の甚しい所では一面の水稻が全部枯死して收穫の皆無な場合もある。増産の爲には先ず第一にこれ等恐るべき病害の撲滅法を強化すると共に催芽の方法も改善しなければならぬ。

一、水稻種子の消毒

水稻病害を撲滅するには、何よりも豫防が大切である。豫防の方法として最も効果的なのは、種子を消毒する事であつて、一度消毒された種子は病害にかかると少い事は各地で證明されている。消毒薬としては、フォルマリン、プラスト、ウスブルン、殺仁樂生などが有るが、中でも殺仁樂生は効力が特に良いので、その消毒法を簡単に紹介して見よう。

(甲) 殺仁樂生の調合と消毒法

殺仁樂生は紅色粉末状の消毒薬で、水に溶解し易い。調合法は殺仁樂生が一に對して水一〇〇〇の割合(例へば殺仁樂生一公斤に對して水一〇〇〇公升)であるが、先ず木桶又は水ガメの如き容器に一の割合に殺仁樂生を入れて水少々を加へ、よく掻きまはして薬と水とが充分に混合したら、一〇〇〇の割合の水を注いで、もう一度竹桿或は木棒で溶液を掻きまはす。次に種子を竹カゴ又は麻袋の中に入れて、これを溶液の入つてある木桶の中に漬けて種子が消毒液をよく吸収する様にカゴ又は袋を動かす、この様に一時間ほど漬けた後、袋を取り出して水で洗い落し、催芽の仕事にかかるとよい。

(乙) 殺仁樂生取扱ひの注意

1 殺仁樂生は劇薬であるから、絶対に人畜の口に入らぬ様に注意
2 殺仁樂生は皮膚を侵すから調査の際には手足に接觸させない事
3 一千公升の種子を消毒するに仁樂生を一〇〇ポンド(約十二兩)の殺仁樂生を一〇〇ポンドの水に溶かした液を使へばよい。

二、催芽の方法

種子の消毒が終つたら、發芽を促進させる爲に催芽をする。催芽の程度は、子葉が約五ミリ(米粒位の長さ)で、子葉は米粒の約二倍位の長さがある程度でよい。

(甲) 浸水期間 浸水に要する時間は、田の水温に依つて違ふが、第一期作の場合には通常水温が攝氏十五度であるから、約四晝夜浸水するのが適當である。

(乙) 催芽法 方法は色々あるが、要するに最短期間内に、子葉と子葉を強大にして、適當な長さの發芽させればよい譯である。次の方法が廣く使用されて、効果も良いので紹介して見よう。

催芽第一日 午後五時：浸水した種子を米甕に入れた後、(1)の如く如湯(ジョロ)又はバケツでお湯を注ぎながら、種子を掻きまはして、全部が平均な温度に達する様にする。(湯の温度は攝氏五十度位で、量は種子の約十分の一)

催芽第二日 午前九時：第一日目と同じ様にお湯を注いで掻きまはす。午後五時：午前と同じ事を繰り返すが、これ以後は發芽に依つて自然熱を出すから温める必要が無い。

催芽第三日 午前九時：掻きまはす事でよい(但し急に寒くなつた時は、續けてお湯をかけて温度を保ち、反對に氣温の高い時には、冷水を注ぐとか又は保温設備を取り除く)午後五時：この時になると子葉や子葉が標準の長さに成長するから、それ以上成長させない様に米甕ごと水に漬ける。

催芽第四日 午前九時：播種開始。



お米の増産に 優良種子を播け!

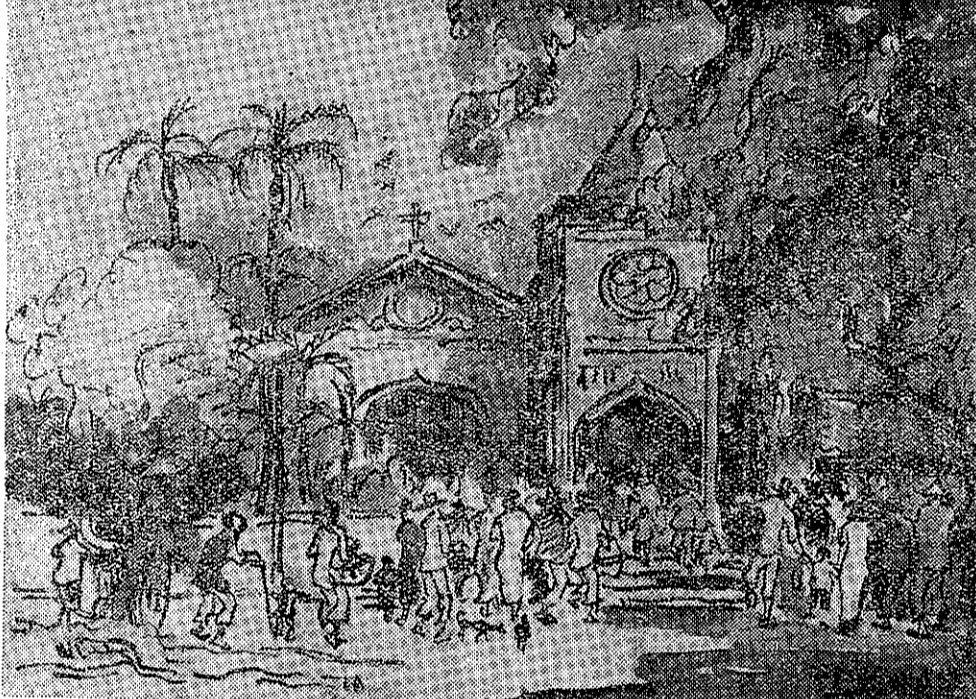
一、優良種水稻の利益

事實が今まで證明して來てゐる通りに、純潔優良種水稻を植れば次の様な多くの利益がある。先ず第一に收穫が多くなる。優良種水稻は普通種のものに比べて、常に〇・五割ないし一割半の増收を期待できる。第二の長所として、優良種は普通種水稻に比

びかけて優良種水稻の繁殖に努めて來てゐる。この計劃實現の爲めには大量の優良種水稻種子が必要になつて來るが、繁殖と奨励の順序は次の如くである。

原原種 ↓ 原種 ↓ 採種 ↓ 一般農民

この中、採種の仕事は郷鎮公所指定の農家によつて經營されて居り、これを採種田經營農家と呼



田庄歌謠 (第十一回) 藍蔭鼎

教堂鐘聲是聖誕 響聲是聖誕 響聲是聖誕
善男善女相謝 善男善女相謝 善男善女相謝
聖親相謝 聖親相謝 聖親相謝

くなる。故に各地の農民は必ず二期作に附近の採種田經營農家と優良種子を交換して、水稻の純潔を保つて頂きたい。

五、優良種子と如何にして交換するか

農民が自家で採取した種子をもつて採種田農家の優良種子と交換する時には、自分の種子を一割か二割多く出して優良な種子と交換すべきである。採種田經營の農家は普通の農民より多くの精力と

七面鳥飼養

馬鹿に出來ない利益

クリスマス(聖誕節)が近づいて來たが、西洋ではクリスマス晩に、一家の者が食卓を圍んで、七面鳥(火雞)の丸焼きを食べる習慣がある。去年のクリスマスに臺北では、七面鳥一頭が、當時の値段で十五、六元以上になつたのだから確に儲けは悪くない。この爲、七面鳥を飼つていた農家や、その賣買に従事していた商人達が多大な利益をあげた事は云ふまでも無い。

そこで、クリスマスも近づいて來たこの際、七面鳥を飼へばどのくらい儲かるか「豊年」第三期農業指導に登載された「合理的養鶏法」の中の收支對照表と比較して見よう。

その表によると子豚六匹を購入するの七百二十元を費して入るが、この金額で七面鳥を買ふとすると、現在(十二月一日)の臺北に於ける市價で、生れたての七面鳥のヒナが六元だから、實に二百二十羽のヒナを買ふ事が出来る。この二百二十羽が全羽大きくなつたら大した利益になるが、一般の農家では、「どうも七面鳥のヒナを育てるのは難しい。少しばかり寒いと直ぐ參つてしまふし、蚊や害蟲に咬まれない様に一刻も注意しなければならぬ上に、(葱)葱仔尾)を毎日やる必要があるから」とも面倒だ」と云つて、七面鳥のヒナを風に當てて死んでしまふものも思ひ込んで居る。然し筆者の今まで飼つて來た経験では、七面鳥の飼育は其れほど難しいものではなく、鶏によく有る傳染病、感冒、下痢になつた事も無い。然し慎重を期する爲、購入した一百二十羽のヒナの内、二十羽は失敗するものと始めから豫定して、残りの百羽が立派に育つと假定する。筆者の現在飼養して

種類	數量(月)	價格
米	一五〇公升	一三二元
糠	三〇〇公升	一五元
糞	五三元	
合計		二〇〇元

右は一個月分の費用であるから、六個月間には飼料が一千二百元かかる事になる。なほ、この飼料表は、實際に筆者の與へている量より約十分の一多い。次に全體の收支對照表を作つて見よう。

支 出	收 入
一、七面鳥ヒナ一百二十羽購入費	七二〇元
一、飼料費(六個月分)	一、二〇〇元
計	一九二〇元
一、七面鳥六個月の賣上金額	六三六二元

右の表により差引純利益は四千四百四十二元となる。ヒナを飼養して二個月後になつたら、百羽について毎日一元づつ飼料を増加したら良い。其のほかに、七面鳥の飼養法についても書きたいが紙面が許さないので次の機会にしよう。(王銘氏經驗談)

べて病蟲害に對する抵抗力が一段と強い。第三には、優良種水稻は穀粒が充満して、容易に割れたり砕けたりしない。

その上、實値も優良種米穀の方が多い。優良種米穀の利益を増やす事になる。

二、優良種水稻の繁殖と奨励

優良種水稻の繁殖と奨励計劃は、光復後に於ける種々な事情で理想の程度に達する事が出来なかつたが、民國三十八年の第二期作以後、農復會から經費上の援助を受けた農林廳では廣く農民に呼

三、採種田はどの位あるか

本省の採種田は全省各地に分佈されて居り、採種田の数は毎期作六千餘個に達して居る。各郷鎮市區公所や農會では指導員を遣遣して採種田經營農家の指導に當つて居る。毎期生産されて居る純潔優良種水稻の種子は約十萬公升と云はれて居る。

四、種子の純潔を計れ

もし農民がいつも自家の種子を播種すると、種子が退化したり混雜したりして作物が純潔でな